別添2

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

平成29年2月24日

中国運輸局

評価対象事業名：利用環境改善促進等事業

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広島県生活交通対策協議会	公益社団法人 広島県バス協会	バスロケーションシステム整備事業	表示機でのPR動画配信，テレビCMに加え，主要バス停でチラシを配布するなどした結果，システムと連携したサービスであるバスイットの閲覧数が大幅に増加するなど，利用拡大が図られた。 （H27.3月／ 42,963件 →H28.3月／ 1,333,286件	A	A	利用者の多いバス停などへの表示器整備をすすめるほか，引き続き便利な利用方法の広報などに努め，パソコン・スマートフォンでの利用者増をはじめ，更なる利用拡大を目指す。	事業実施内容については、平成26年度に続き平成27年度事業として、バスロケシステムの追加開発、各事業所への監視端末17台の設置、車両580両への車載器の設置、バス停・駅・病院へのバスロケ表示機49台の設置など、全て実施された。 その結果、平成26年度から平成27年度までの事業全体では、監視端末43台の設置、車両1,165両への車載器の設置、バス停・駅・病院へのバスロケ表示機68台の設置となった。 加えて、本事業は広島県の多くの地域（9市7町）、多くのバス事業者（9者）により実施されており、広域的な連携事業として高く評価できる。 主目的である「公共交通ネットワークの構築」については、導入後は、駅前、市町中心地等の利用者の多いバス停では、バスロケ表示機によりバスの運行状況がリアルタイムで表示され、それ以外のバス停においても、携帯端末によりバスの運行状況が確認できるため、利用者の安心感が強まり、バスへの信頼性、利便性が向上したことで、利用促進にもつながっていると考えられる。 今後は、取得できる運行データを活用し、各バス停の発車時刻などをより実態に近い内容で設定するなど、さらなる利便性の向上等にも活用していただきたい。	